

事務記入欄	: 必ず記入が必要な項目 : 記入情報がない場合でも、項目名（見出し）は表示する	: 記入情報がない場合でも、「特になし」等何らかの記載を必要とする : 記入情報がない場合は、項目名（見出し）も表示しない
-------	---	--

2026年度 Syllabus (講義概要・授業計画) 用紙

管理番号: EU26401020

科目名	演習	サブタイトル	環境経済学: 環境問題とその対策
対象学部	経済学部		
開講曜講時	後期 火2	配当年次	2年次
開講キャンパス	深草	担当者(カナ氏名)	イ テーヨン
単位	2	担当者(漢字氏名)	李 態妍
備考	【科目区分】現代経済学科科目〔演習科目〕		

講義概要

サブタイトル 【入力属性: 】 【学外公開】	環境経済学: 環境問題とその対策
------------------------------	------------------

講義概要 【入力属性: 】 【学外公開】	<p>本演習では、環境問題、資源問題、農業問題など自然環境に関連する諸問題について考えます。例えば、地球温暖化や酸性雨などの地球規模での環境問題、現代の大量消費社会の副産物としての汚染問題、ゴミ問題、過剰利用・開発による生態系破壊など地域の環境問題を取り上げます。</p> <p>このような自然環境を巡る環境、資源、農業などの問題が発生した背景・原因を分析し、地域環境や資源を有効に保全・活動しながら持続可能な社会を実現するために何が必要なのかを考えます。先ず環境問題の現状を調査研究し、次にそれぞれの問題に適した政策を考え、立案していきます。最後に、その政策を実現するために政府・企業・市民はそれぞれ何をなすべきかなどについて議論します。</p>
----------------------------	--

到達目標 【入力属性: 】 【学外公開】	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境問題とその政策に対して理解を深めること 2. 必要な情報を収集・分析する方法をマスタすること 3. 自分の考えを、自分の言葉・文章で表現出来るようになること 4. 自分の考えと他人の考えの違いを理解し、また論理的な思考ができること
----------------------------	---

講義方法 【入力属性: 】 【学外公開】	<p>《アクティブ・ラーニングの手法を用いて実施》</p> <p>演習I 4セメスター: 環境経済学の基本的なテキストを輪読</p> <p>演習 5セメスター: 幾つかの環境問題を選び、グループで調査し、発表を行う</p> <p>演習 6セメスター: 学外の学習プログラムに挑戦(個別に研究テーマを選択し、報告、レポートなどの作成)</p> <p>演習 (卒業研究含む) 7-8メスター: 各自テーマを決定し、卒業論文作成に向けて発表を行い、最終的に卒業論文集としてまとめる</p> <p>[進め方]</p> <ul style="list-style-type: none"> * 基本的に報告者の発表に対して皆で議論する形で進める。 * イベントなど: 見学など現地調査や他の大学との合同ゼミ発表会・合宿(毎年12月: 2-4年生全員参加)なども行う予定。
----------------------------	--

授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示 【入力属性: 】 【学外公開】	授業中、随時、授業時間外における予習・復習について指示をする予定。
--	-----------------------------------

系統的履修 【入力属性: 】 【学外公開】	<p>【事前に履修していることが望ましい科目】ミクロ経済学、マクロ経済学</p> <p>【同時に履修することが望ましい科目】</p> <p>【事後に履修することが望ましい科目】公共経済学</p>
-----------------------------	---

成績評価の方法 (提出された課題等に対するフィードバックを含む) 2024年度以降) 【入力属性: 】 【学外公開】	種別	割合	評価基準・その他備考
	平常点	70%	発表など
	小テスト		
	レポート	10%	レポート、課題など
	定期試験		
	その他	20%	ディベートなど
	自由記載	総合的に評価。 manaba、Googleスペースを通じてフィードバックを行う予定。	

テキスト 【入力属性: 】 【学外公開】	著書・編集者名	書名	出版社名	定価	ISBN
	自由記載	第1回目の授業時にテキストを決定する予定。			

参考文献 【入力属性: 】 【学外公開】	著書・編集者名	書名	出版社名	定価	ISBN
	栗山浩一・馬奈木俊介	環境経済学をつかむ	有斐閣	2,640円	9784641177345
	前田章	ゼミナール環境経済学入門	日本経済新聞出版社	3,360円	9784532133924
	自由記載	授業中、適宜指示する。			

履修上の注意・担当者からの一言 【入力属性: 】 【学外公開】	環境問題および現代の諸問題に関心を持ち、積極的に発表・議論を行う意思のある人、またほかのゼミ活動にも積極的に取り組む意思のある人を歓迎します。
---------------------------------------	---

オフィスアワー・教員との連絡方法 【入力属性: 】	火5講時。メールなどで事前に連絡すること。			
参考URL 【入力属性: 】	参考URL名	参考URL	参考URL名	参考URL
	環境経済学(李)研究室	https://www.econ.ryukoku.ac.jp/~tlee/		
資料 【入力属性: 】				

科目名	演習	サブタイトル	環境経済学: 環境問題とその対策
対象学部	経済学部		
開講曜講時	後期 火2	配当年次	2年次
開講キャンパス	深草	担当者(カナ氏名)	イ テーヨン
単位	2	担当者(漢字氏名)	李 態妍
備考	【科目区分】現代経済学科科目〔演習科目〕		

講義計画				
No.	回数 【入力属性: 】 【学外公開】	担当者 【入力属性: 】 【学外公開】	学修内容 【入力属性: 】 【学外公開】	キーワード 【入力属性: 】
1	1	李 態妍	オリエンテーション	
2	2	李 態妍	環境経済学とは?	
3	3	李 態妍	第1章 環境と経済の関係	環境経済学の基礎: 教科書の 輪読(グループ発表)
4	4	李 態妍	第2章 環境経済学の基礎	
5	5	李 態妍	第3章 環境政策と環境経済学	
6	6	李 態妍	第4章 地球温暖化問題	
7	7	李 態妍	第5章 ごみ問題とリサイクル	
8	8	李 態妍	ディベート準備: 対戦チーム、順番、テーマ研究	グループ発表・評価、論理的 思考
9	9	李 態妍	ディベート資料作成	
10	10	李 態妍	ディベート1: G1、G2	
11	11	李 態妍	ディベート2: G3、G4	
12	12	李 態妍	ディベート3: G5、G6	
13	13	李 態妍	経済学部研究発表会(振替)	
14	14	李 態妍	キャリアワークショップ	
15	15	李 態妍	4セメ総括	
16	番外	李 態妍	2-4年生ゼミ合宿(例年12月第1か2週目の土日)	年次別の研究成果報告会を実施
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				

科目名	演習	サブタイトル	環境経済学：環境問題とその対策
対象学部	経済学部		
開講曜講時	後期 火 2	配当年次	2年次
開講キャンパス	深草	担当者 (カナ氏名)	イ テーヨン
単位	2	担当者 (漢字氏名)	李 態妍
備考	【科目区分】現代経済学科科目〔演習科目〕		

演習特記事項

選考方法 【入力属性: 】	書類選考： 1.演習を選んだ理由、2.演習で何を身につけたいのか、3.ゼミ活動にどのように関わる予定なのか 上記3つの点について具体的に書いているかなどで判断
研究分野・テーマ 【入力属性: 】	環境経済学：環境問題の理論的・実証的分析
略歴 【入力属性: 】	韓国慶州市生まれ。大阪市立大学（経済学部）、同大学院博士課程修了後、北九州市立大学経済学部専任講師、同助教授を経て、2001年本学経済学部助教授として着任、2013年教授。博士（経済学、大阪市立大学、1998）。2005-6年度、ノッティンガム大学（Nottingham University,UK）経済学部客員研究員など。
所属学会 【入力属性: 】	日本経済学会、環境経済・政策学会、日本応用経済学会など